

各 位

会 社 名 プレミアアンチエイジング株式会社
代表者名 代表取締役社長 松浦 清
(コード番号：4934 東証グロース)
問合せ先 執行役員 コーポレートコミュニケーション本部長
上原 祐香
(TEL. 03-3502-2020)

2024年7月期 通期連結業績予想と実績値との差異に関するお知らせ

2024年3月14日に公表いたしました2024年7月期通期連結業績予想と実績値との差異につきまして、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 2024年7月期 通期連結業績予想と実績値との差異について (2023年8月1日~2024年7月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A) (2024年3月14日)	百万円 20,000	百万円 △1,000	百万円 △1,000	百万円 △2,500	円 銭 △286.68
実績値(B)	20,359	139	161	△1,483	△170.10
増減額(B-A)	359	1,139	1,161	1,016	
増減率(%)	1.8	-	-	-	
ご参考：前期実績 (2023年7月期)	26,400	△611	△631	△733	△84.17

2. 差異の理由

2024年7月期の売上高は、リカバリー事業がサプライチェーン・マネジメントや販売チャネルの強化により順調に売上を伸ばす一方、アンチエイジング事業においては、ほぼ計画通りの着地となりました。

損益面では、第4四半期に、CPOとLTVのバランスを考慮した上での新規獲得投資、新チャネル・新ブランドへの開発投資、並びに財務体質の強化に向けた対応を予定しておりました。このうち、新チャネル・新ブランドへの開発投資および財務体質の強化に向けた対応は進捗しております。一方、新規獲得投資については、獲得効率とその後の転換率を重視した新規獲得方針に基づき広告投資をコントロールしたこと、CPOとLTVのバランスが十分には改善しなかったことから抑制し、広告宣伝費を中心とした販売費が3億円程度減少いたしました。また、原価や物流費等の変動費に関して1.5億円程度減少した他、コスト構造改革の推進による人件費・システム費・業務委託費等の固定費の削減と規律ある投資の徹底な

どを通じて合計 6 億円程度の支出を抑制し、全体として約 11 億円の損益が改善いたしました。

以上のことから、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益に上記の通り差異が生じました。

以上